

日本テスト学会第 22 回大会 開催のご案内

「テストをどう開発し、どう活用するか

— テスト技術革新の方向性を見据えて —

コロナ禍の3年間で、オンラインを活用した授業や会議など、日常の生活のなかにオンラインが広く普及してきました。また、コロナに関わる規制が緩和される時期に私たちがしばしば耳にするようになった言葉に「生成 AI」があり、私たちも Web を通して利用することができますし、また、小学校の授業で活用されていたり、議会の答弁作りにも使われたりといったニュースも飛び込んできます。ICT (Information and Communication Technology) の技術革新の加速度的な進展は、テストのあり方にもさまざまな面で影響を及ぼすことは言うまでもありません。

そこで、第 22 回大会では、まず、テストに関わる技術革新の方向性を見据え、それを踏まえて、テストの開発や実施にどのような可能性が引き出されるのかを確認すると共に、テストを活用する立場から、テストは何のために行うのかという原点に立ち返って、活用のあり方を改めて検討していく機会をもちたいと思います。

第 22 回大会も、昨年を引き続き、オンラインで開催することになりました。オンライン形式は、対面式の利点をカバーしきれない限界もありますが、全国から、少しでも多くの会員に気軽にご参加いただき、最近のテスト技術革新の一端を共有していただくと共に、往々にして、結果のみが一人歩きしがちなテストの教育的な活用のあり方について意見交換の機会が持てればと考えています。

今回は、テスト結果をどう視覚的に表現するかという点で、R を利用したチュートリアルも企画いたしました。具体的なプログラムと共に視覚的表現手法が提示されることで、日頃の教育活動やテストに関わる調査研究などにも有用な情報が提供されると思います。

一般研究発表のセッションには、テストに関わる開発研究、調査研究など、皆さんが取り組まれている研究の一端を、中間報告やアイデアのレベルのものも含めて、幅広く発信していただいて、お互いの情報交換、意見交換を通じて、研究開発の推進の原動力としていただければと思います。一般研究発表は、参加された皆さんの投票も踏まえて、表彰選考委員会で一般研究発表賞の選考が行われ表彰されます。さらに、日本テスト学会誌への投稿に結びつけていただければ嬉しい限りです。

オンライン開催という限界は自覚しつつも、その与えられた環境の下で、会員相互の意見交換や交流ができればと願っております。会員のみなさまはもとより、周囲の方でテストに関心をお持ちの方もお誘いいただき、少しでも多くの方のご参加をお待ちしております。

大会ウェブサイト <https://www.jart2024.jp/>

日本テスト学会 第 22 回大会 実行委員長
国際医療福祉大学 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 大塚雄作

★第 22 回大会事務局連絡先

日本テスト学会第 22 回大会実行委員会 E-mail : jart2024@googlegroups.com

1. 開催方法と日程

本大会は講演・質疑応答を含め、全てオンラインで実施します。シンポジウムとチュートリアルは、Zoom のウェビナーを用いたリアルタイム配信として実施し、一般研究発表は Zoom ミーティングを用いた口頭発表で実施します。各種日程は以下の通りです。

- リアルタイム配信日 : 2024 年 8 月 25 日 (日) [シンポジウム・チュートリアル・口頭発表]
- 発表論文抄録公開日 : 2024 年 8 月 19 日 (月) ~ 9 月 30 日 (月)

< 2024 年 8 月 25 日 (日) タイムスケジュール (予定) >

	開催時間帯	配信時間 (分)	内容
午前	9:45~12:00	15 120	オープニング・セッション 「大会実行委員長 挨拶・日本テスト学会理事長 挨拶」 研究委員会企画シンポジウム (公開) 「Item Writing の最前線」
	12:00~13:00	60	休憩
午後 1	13:00~15:00	120	大会実行委員会企画シンポジウム (公開) 「テスト結果の活用」
	15:00~15:10	10	休憩
午後 2	15:10~16:10	60	チュートリアル 「RStudio と ggplot2 パッケージを用いたテストデータの可視化」
	16:10~16:20	10	休憩
午後 3	16:20~18:20	120	一般研究発表セッション (Zoom でのオンライン口頭発表) ※ 発表終了後 20 分程度は、アフタートークセッションの時間として そのまま Zoom ミーティングルームを開けておく予定です。

2. 内容

2.1. シンポジウムおよびチュートリアル

シンポジウム 2 件とチュートリアル 1 件を予定しています。シンポジウムについては、事前に参加申込みを行うことで、非会員の方も無料でご参加いただけますので、広くお誘いいただければ幸いです。

【研究委員会企画シンポジウム】 Item Writing の最前線

企画 / 日本テスト学会 研究委員会

司会 / 石井秀宗 (名古屋大学)

趣旨説明 / 加藤健太郎 (ベネッセ教育総合研究所)

話題提供者 / 宇都雅輝 (電気通信大学), 寺尾尚大 (大学入試センター)

指定討論者 / 野口裕之 (名古屋大学名誉教授)

開催方法 / リアルタイム配信 (Zoom ウェビナー)

開催日程 / 2024 年 8 月 25 日 (日) 10:00~12:00

【公開シンポジウム】テスト結果の活用

企画／日本テスト学会 大会実行委員会

司会／鈴木雅之（横浜国立大学）

話題提供者／斉田智里（横浜国立大学）、柴里実（東京大学）、守本哲也（岡山朝日高校）

指定討論者／山森光陽（日本大学）

開催方法／リアルタイム配信（Zoom ウェビナー）

開催日程／2024年8月25日（日）13:00～15:00

【チュートリアル】RStudio と ggplot2 パッケージを用いたテストデータの可視化

企画／日本テスト学会 大会実行委員会

司会／山田剛史（横浜市立大学）

講師／堀一輝（熊本県立大学）

開催方法／リアルタイム配信（Zoom ウェビナー）

開催日程／2024年8月25日（日）15:10～16:10

2.2. 一般研究発表

<発表要件>

「発表者のうち少なくとも1名は本学会会員であること」、「発表論文抄録集（電子版）への論文掲載」、「口頭発表」の3つの条件を満たすことで、公式発表として認められます。

<抄録原稿の作成・提出>

発表者は、事前に参加申込みと一般研究発表申込みを済ませていただいた上で、7月8日（月）までに大会ウェブサイト上の専用フォームから抄録原稿をご提出ください。締切の延長はありませんので、期日までのご提出にご協力をお願いします。発表論文抄録は、8月19日（月）～9月30日（月）の間、大会ウェブサイト内の参加者のみが閲覧できる限定ページ上に公開されます。

<口頭発表>

一般研究発表は、8月25日（日）16時20分～18時20分に開催する一般研究発表セッション（Zoom ミーティングを使用）において、スライド等の画面共有による口頭発表と、質疑応答で行う予定です。発表1件あたり、質疑応答を含む20分間の予定です。

なお、本大会では発表動画の提出による口頭発表、Slack（スラック）などによるオンライン・非同期形式の質疑応答は実施いたしません。

<その他>

発表論文抄録は、大会ウェブサイトでの公開期間終了後、J-STAGE への掲載が予定されておりますので、あらかじめご了承ください。

3. 大会参加申込み・一般研究発表申込み・公開シンポジウム参加申込みについて

3.1. 申込手続き

大会参加、および一般研究発表の申込みは、所定の期間（次項参照）に大会ウェブサイトから行ってください。

3.2. 各種申込み期間

一般研究発表の申込 : 2024年5月7日（火）～ 6月28日（金）

一般研究発表の抄録原稿提出 : 2024年5月7日（火）～ 7月8日（月）

大会参加申込・参加費払込み : 2024年5月7日（火）～ 7月31日（水）

公開シンポジウム参加申込み : 2024年5月7日（火）～ 8月25日（日）

3.3. 参加費の払込み

大会ウェブサイト上で参加申込を済ませた上で、2024年7月31日（水）までに大会参加費の払込みをお済ませください。ゆうちょ銀行・郵便局から振り込まれる場合は、郵便局備え付けの払込取扱票を、他の金融機関から振り込まれる場合は金融機関備え付けの振込用紙を使用して、以下の口座にご送金ください。いずれの場合も、手数料は依頼人負担となりますのでご了承ください。

<ゆうちょ銀行・郵便局から>

口座番号 : 00190-6-451728

口座名称 : 日本テスト学会

<他の金融機関から>

店名(店番) : 〇一九(ゼロイチキュウ)店(019)

種目・口座番号 : 当座・0451728

口座名義 : 日本テスト学会

正会員・法人会員	準会員・学生	非会員（学生除く）
2,000 円	1,000 円	3,000 円

<払込みに関するお願いと注意>

- 振込前に、大会ウェブサイトから大会参加申込みを行ってください。
- 必ず参加登録者名で払い込んでください（所属機関等からの振り込みの際は特にご注意ください）。
- 利用明細は領収書の代わりとして必ず保管してください。

4. 抄録原稿の作成・送付

抄録原稿の作成・提出にあたっては「抄録作成要領」を必ずご参照ください。

5. 大会プログラム・論文抄録集

本大会では、紙媒体の発表論文抄録集を発行いたしません。電子版の発表論文抄録集（PDF 形式）は、大会ウェブサイトにて 2024年8月19日（月）～ 9月30日（月）の間、掲載しますので、必要な方はダウンロードしてください。

抄録作成要領

原稿提出締め切り 2024 年 7 月 8 日 (月)

抄録原稿は、そのまま発表論文抄録集に掲載されます。以下の要領に従って原稿を作成されるようお願いいたします。原稿は、事前に発表申込みを済ませた上で、大会ウェブサイトの所定のフォームから提出してください。なお、抄録原稿に不備がある場合は、後日、大会事務局から発表者にお問い合わせをすることがございます。

抄録原稿作成要領

抄録原稿用のテンプレートファイルを、大会のウェブサイトからダウンロードしていただけるよう、準備いたします。このテンプレートは、日本テスト学会誌の投稿論文用テンプレートを基にしており、抄録の体裁の統一と、学会発表から学会誌への投稿をより円滑に進めるための支援を目的としています。Word で原稿を作成される方は、テンプレートファイルをご利用ください。

抄録原稿の分量は、発表 1 件につき 2 ページ以上 6 ページ以下とします。ページ数が奇数になってもかまいません。テンプレートを使用しない場合は、A4 の用紙に、上下に各 25.4mm、左右に各 19.0mm 以上の余白を設けてください。発表題目以外は 10.5 ポイント以上の文字サイズとします。レイアウトは以下のようにしてください。

1 ページ目

- ・ 1 行目：標題 大きめの文字サイズ (14 ポイント程度) で中央に書く
- ・ 2 行目：副題 (あれば) 大きめの文字サイズ (14 ポイント程度) で中央に書く
- ・ 3 行目～：発表者の氏名と所属
所属が大学の場合は、学部名 (大学院の場合は研究科名) まで書く。連名発表者で所属が異なる場合は、上付きの数字^{1,2}で発表者と所属の対応を明確にする。
- ・ 以降：本文

2 ページ目以降

- ・ 1 行目より本文を書く。
- ・ 原稿末尾に連絡先 (E-mail アドレス・会員番号) を記入することができる。

大会ウェブサイトの原稿提出フォームによる抄録原稿の送付方法・注意事項

- (1) 原則として PDF 形式で原稿を作成し、大会ウェブサイトの「原稿提出フォーム」を通じて送信してください。LaTeX 文書は、Adobe Acrobat や dvipdfm などのソフトウェアで PDF 形式に変換して提出してください。
- (2) 図表はあらかじめ電子的に貼り付け、別途作業の必要がないようにしてください。
- (3) 原稿にページ番号は記入しないでください。
- (4) 特殊文字 (外字など) は印字されないことがありますので、使用しないでください。
- (5) 本文は黒字のみで作成してください。また、図や表は、マーク・線種・背景色などに配慮し、モノクロ印刷でも判別できるようにしてください。
- (6) 原稿は大会ウェブサイトの「原稿提出フォーム」(発表申込みフォームとは別になりますのでご注意ください) から、発表申込みを期日までに済まされた上でお送りください。